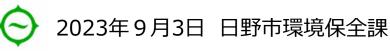
休憩時間に聴く、ペットボトルとリサイクルのちょっとしたはなし

 1860
 1890
 1920
 1950
 1980
 2010

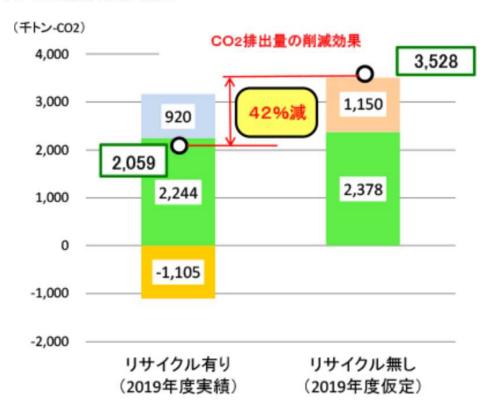
環境共生部 環境保全課



PETボトルのリサイクルで削減できるCO2の排出量

日野市 CO2 NEUTRAL 気候 市民会議

図1. CO2総排出量削減効果



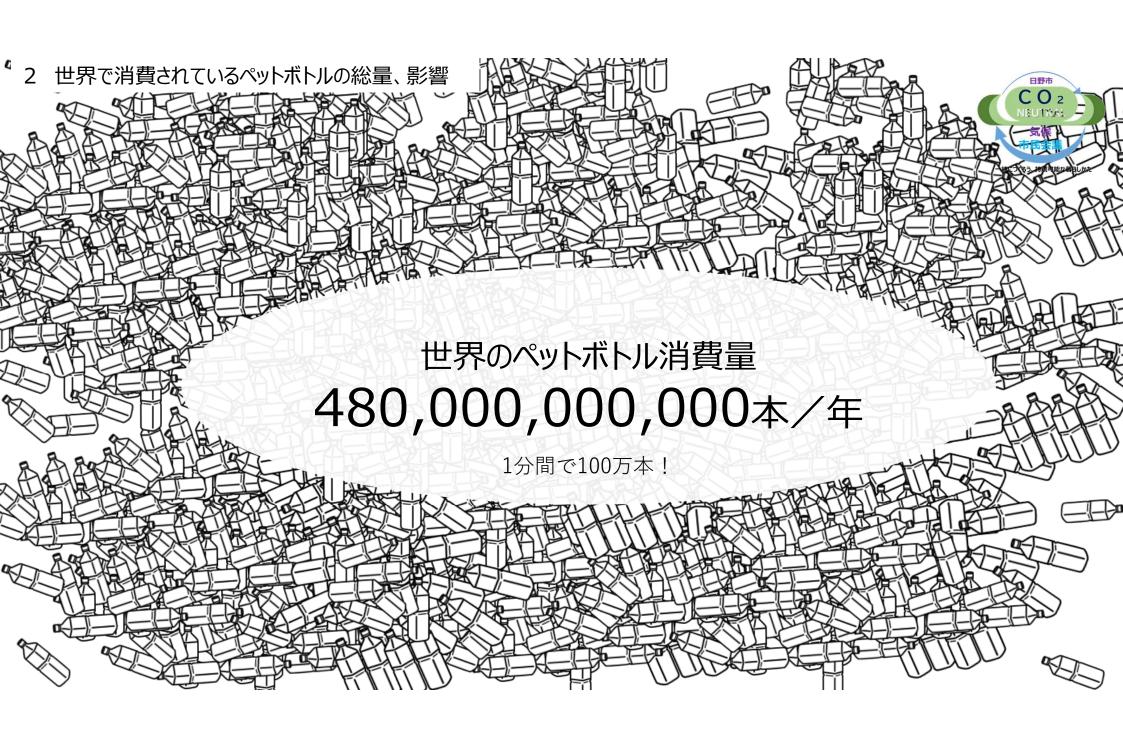
〇合計

- 廃棄物処理 (単純焼却・焼却発電・埋め立て)
- ■使用済みボトルの 回収・リサイクル・再利用

焼却・熱利用等の場合と比較して -42%のCO2削減効果

- ※ 「原料樹脂・ボトル生産」には、ラベル・キャップとこれらの原料樹脂の生産を含む。
- ※ 「回収・リサイクル・再利用」の「再利用」は、再生材料を用いた繊維・シートなどの生産を意味する。
- ※ 端数処理のため、数値が合わない場合があります。





2 世界で消費されているペットボトルの総量、影響



世界が1年間で消費するペットボトルを繋げると・・・・





 \bigcirc 20 cm \times 4,800 (\bigcirc = 96,000,000 Km

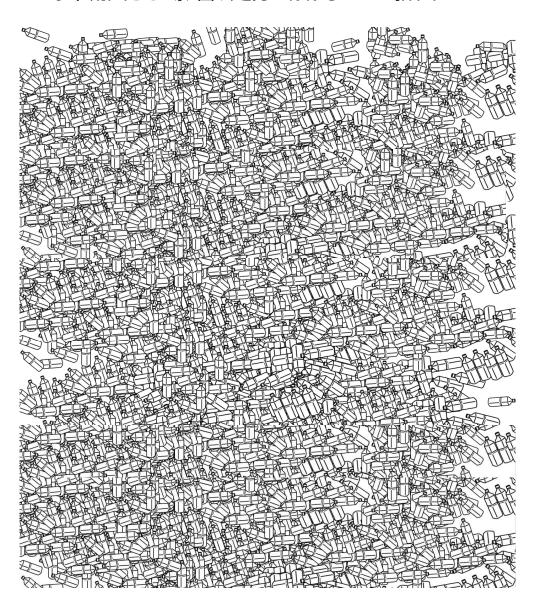


約125 往復

月と地球の距離 約384,400km



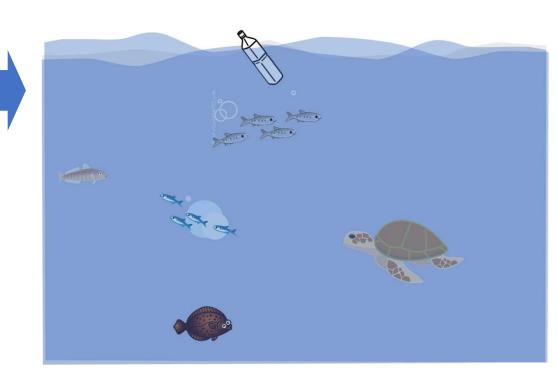
3 海洋流出とその影響、処分にかかるCO2排出





世界のペットボトルの 0.1%でも海に流れ出ると・・・

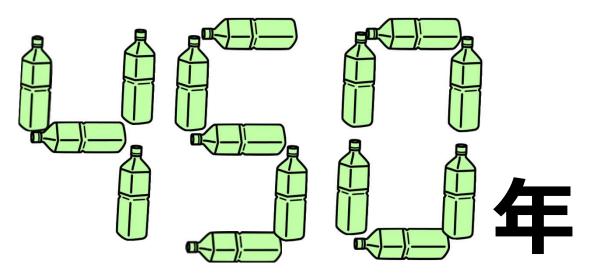
14,400トンのペットボトルになります



4 正解のない選択肢、求められる我々の行動

ペットボトルが海で分解するには







もかかるそうです。

4 正解のない選択肢、求められる我々の行動



瓶にしたら・・・



輸送にかかるCO2が増加

缶にしたら・・・



アルミ地金の生成に膨大な電力を使用

※アルミ缶の国内リサイクル率93.9% CAN to CANリサイクル率70.9% (2022年アルミ缶リサイクル協会報告)

※米国アルミニウム協会の報告ではペットボトルに比べて7%~21% CO2排出が少ないと報告されている

これからはなるべく環境負荷の少ないライフスタイルを







ウォータースタンドについて

日野市は、令和4年6月23日(木曜日)に、ウォータースタンド株式会社と 「プラスチックごみ削減の推進に係る協定」を締結いたしました。

この協定に基づき、常温・マイボトル使用型ウォータースタンドを 令和4年6月23日(木曜日)に市役所本庁舎1階 第二玄関横に設置しております。 今後は令和4年7月1日(金曜日)より市内公共施設29か所に順次設置を行い、 市役所を含めた全30か所にウォータースタンドを設置いたします。

